



地区委員会だより No.1



安全な夏休みを過ごしましょう！



いよいよ楽しい夏休みがはじまります！

学校がお休みになるこの時期は、外出の機会も増え、交通事故も多くなります。

夏休みを安全に過ごすために、ご家庭で**交通ルール**について話しあい、
楽しい夏休みを過ごしましょう！！

!! Check!



- ① 一人での時間がないよう気を付ける
- ② 出かける時には「どこで」「だれと」「なにをして」「何時に
かえる」などの約束をしている
- ③ 通学路や遊び場など、**行動範囲の危険箇所**を確認して
いる
- ④ 毎日親子で話をする時間をとっている
- ⑤ 防犯ブザーが鳴るか**定期的に確認**している

東京都からのお知らせ

13歳未満の子供に対する性犯罪の約6割は、下校時間帯(午後2時から午後7時)に発生しています

【プラス防犯のススメ】

「プラス防犯」とは、いつもの暮らしのなかでの行動を防犯意識を持って行うことです。

具体的には、子供の登下校の時間に合わせて、花の水やりや犬の散歩、
ジョギングなどを行うことも効果的な取組と言えます。

見守りの目が多ければ多いほど、事故や犯罪の抑止力となります。

皆様の「眼力」と「声掛け」のご協力をよろしくお願いいたします！！



そして、小学生の人身事故の多くが自転車乗車中に起きているそうです。

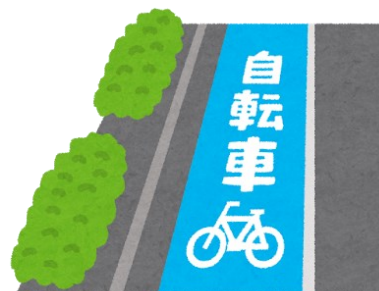
あらためて自転車の安全ルールや、事故防止のおさらいをしましょう！

裏面も見てね>>

自転車の安全利用五則

①車道が原則、歩道は例外

自転車は車道の左側を走るのが決まりですが、子ども(13歳未満)が自転車に乗るときは歩道を走ることができます。ただし歩行者に配慮し走行しましょう。



②車道は左側通行

自転車で車道を走るときは、道路の左側に寄って走ります。

③歩道は歩行者優先で、車道よりを徐行

歩道を歩いている人が優先です。歩道を通るときは車道側に寄って通行し、歩いている人の妨害になりそうときは止まりましょう。



④安全ルールを守る

二人乗りはいけません。
自転車どうして横に並んで走ってはいけません。
夜はライトをつけましょう。
信号は必ず守りましょう。
「止まれ」の標識や、道路に「止まれ」と書いてあるときは、必ず止まって安全を確認しましょう。
左右が見えにくい交差点を通るときは、しっかり左右の安全を確認しましょう。



⑤ヘルメットを着用

自転車に乗るときは、ヘルメットをかぶりましょう。



ルールを覚えるだけでなく、ルールをきちんと守る習慣をつけましょう!!

子どもたちの安全を地域全体で守っていけるよう、皆様のご協力をお願いいたします!!